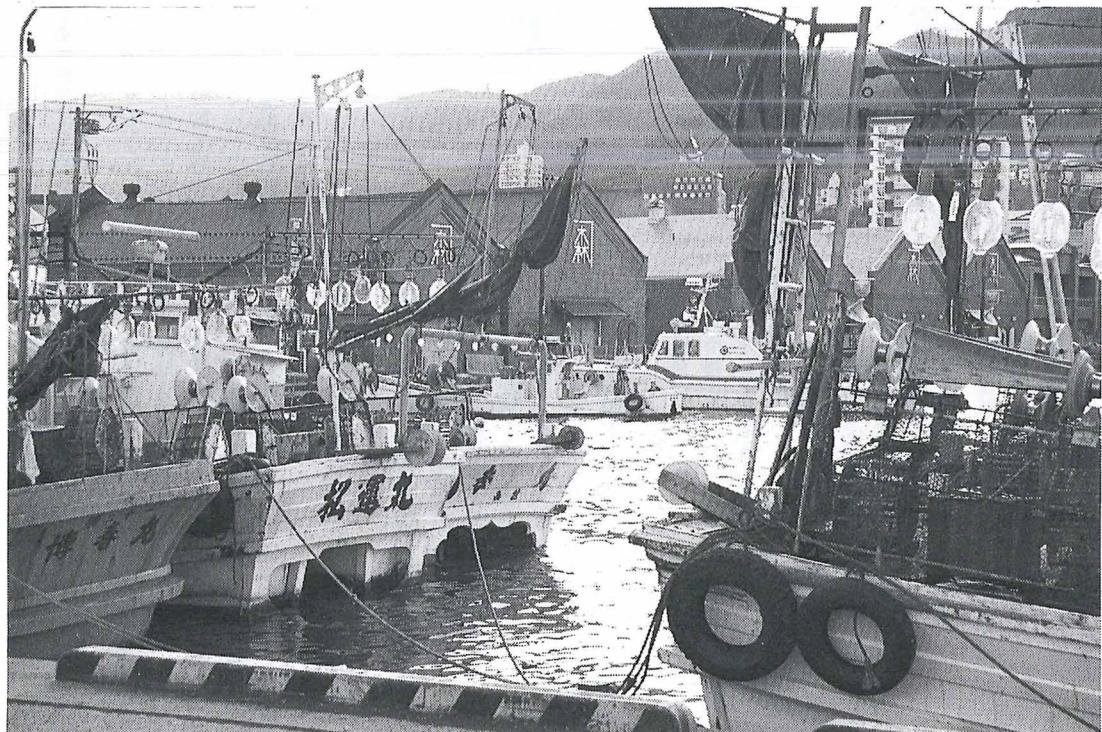


# いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合  
 編集総務部  
 住 所 函館市日乃出町7番22号  
 印刷所 有限会社 畠山印刷



いか漁船と金森倉庫

すでに周知のとおり昭和六十二年九月一日付で「電気工事士法および電気工事業の業務の適性化に関する法律(電気工事二法)」が改正公布され、昭和六十三年九月一日から施行された。

この電気工事二法の改正の大きな要点は、従来の電気工事が第一種と第二種に区分されたことと、自家用電気工作物(五〇〇kW未満の需要設備)の電気工事についても法の規制を受け、第一種電気工事士でなければ従事出来ないことがあげられる。

又、この法改正に伴なう経過措置として、自家用電気工作物の電気工事の従事者を、第一種電気工事士に限ること並びに第一種電気工事士の使用義務については、昭和五十九年八月三十一日までは適用しないことと、従来の電気工事士(法改正により第二種電気工事士と云う)で三年以上の実務経験を有する場合は、経過措置期間(昭和六十五年八月三十一日)内に実施する講習を修了し、所定の手続きを行うことにより第一種電気工事士の資格を取得することが出来るよう講じられている。

このたび、この講習会の第一回目の日程が告示され当組合関係者は明年一月二十八日・二十九日の両日、函館市のホテルアカシヤで南北海道協組と合同で受講することが決定したが、一回の受講定員があらかじめ限定されていることとあわせて建設業法の改正に伴なう「二級電気工事施工管理技士」の資格取得の必要性を考慮のうえ仮申込を受け定員の一四五名を決定した。この資格講習会は「財團法人電気工事技術講習セセン

## 第一種電気工事士 第一回受付はじまる

ター」で実施するのであるが、全日電工連組織においては各地単協で関係書類の取纏めをすることになり、去る十月二十七日・二十八日の両日申込者に対し、受講申込書等関係書類を交付し記載要領を詳細に説明して受付を開始した。

第一回目のことなので無理からぬ事かとも思うが、手を加えないで申込みの済んだのは十パーセント位、残りは住民票を添付しなかつたり、実務経験証明書の記載が不十分であつたり証明者が間違っているもの、時には全書類が無記入で提出されたり、又提出締切当日に郵送されたが前記のような理由で急ぎ来所して貰つたのも数件あつた。

今後、この講習会が数回開催されることになるが、出来る限り一度で手続きを完了するよう願うものである。

## 役員会だより

六三・七・一二

- (一) 慶弔報告  
(二) 貸付報告

第四回役員会

- (一) 慶弔報告者尊父逝去

- (二) 貸付報告

- (一) (海) 姓名電気代表者尊父逝去  
(二) 各支部報告並提案事項

- (一) 各支部とも港まつり協賛行事についての要請をした。

四、総務委員会事項

- (一) 事務局職員給与改定および夏期手当の支給報告  
(二) ファクシミリの設置について  
(三) 代表者の変更

- (一) 北邦電気㈱ 吉田正巳 (須田正明)  
○ 日興電気㈱ 林 一夫 (日計文雄)  
○ (海) 西川電気商会 西川弥志子 (西川文夫)

- (四) 組合員名簿の作成について  
(五) 組合脱退申込について

金子電化工業所 (廃業) || 承認  
函館八幡宮例大祭に伴なう臨時休業について  
事務所新築について

(八) 函館港まつり一万人パレードについて  
(九) 事務所新築について

第一回目のことなので無理からぬ事かとも思うが、手を加えないで申込みの済んだのは十パーセント位、残りは住民票を添付しなかつたり、実務経験証明書の記載が不十分であつたり証明者が間違っているもの、時には全書類が無記入で提出されたり、又提出締切当日に郵送されたが前記のような理由で急ぎ来所して貰つたのも数件あつた。

今後、この講習会が数回開催されることになるが、出来る限り一度で手続きを完了するよう願うものである。

六、事業委員会事項

- (一) 第三者損害賠償制度等実績資料について

- (二) 安田生命企業年金配当金について  
(三) 住友生命保険会社共済制度配当金について  
(四) 電気使用安全月間の行事について  
(五) 電気安全大会について  
(六) 第三者損害賠償制度について  
(七) 保守管理業務について

- 7月4日 港まつり協賛行事実行委員会

- 6日 正副理事長による青森県電気工事業工業組合視察

- 7日 全日電工連互助会に大倉理事長出席  
(於東京都)

- 8日 道工業組合事業委員会に大倉理事長、西岡理事出席 (於札電協)

- 全日 北電資材管理所統廃合打合会議  
出席 (於北電)

- 12日 第四回役員会

- 11日 全日 港まつり協賛行事実行委員会

- 13日 組合新加入者業務説明会

- 14日 西支部会議

- 15日 東支部会議

- 22日 道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席 (於札電協)

- 23日 道工業組合会計中間監査に吉田副理事長出席  
席 中渡島支部会議

- 25日 港まつり協賛行事実行委員会

- 28日 電気工事士試験 (実技) のための特別訓練

(一) 電気工事二法の改正法説明会の開催について  
電気工事士試験のための特別訓練について  
受講者 三一名  
(三) 改正建設業法について  
(四) 第一種電気工事士資格取得講習会

六、事業委員会事項

- (一) 第三者損害賠償制度等実績資料について  
(二) 電気工事安全大会について  
(三) 港まつり一万人パレードについて

## 組合行事

- 7月4日 港まつり協賛行事実行委員会

- 6日 正副理事長による青森県電気工事業工業組合視察

- 7日 全日電工連互助会に大倉理事長出席  
(於東京都)

- 8日 道工業組合事業委員会に大倉理事長、西岡理事出席 (於札電協)

- 11日 北電資材管理所統廃合打合会議  
出席 (於北電)

- 12日 第四回役員会

- 11日 港まつり協賛行事実行委員会

- 13日 組合新加入者業務説明会

- 14日 西支部会議

- 15日 東支部会議

- 22日 道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席 (於札電協)

- 23日 道工業組合会計中間監査に吉田副理事長出席  
席 中渡島支部会議

- 25日 港まつり協賛行事実行委員会

- 28日 電気工事士試験 (実技) のための特別訓練

31日	電気工事士試験に大倉理事長立候
8月1日	港まつり協賛行事実行委員会
3日	道工業組合事業委員会に大倉理事長出席 (於札電協)
全日	函館港まつり一万人パレードに大倉理事長 ほか一三〇名余名参加 (詳細別掲)
4日	正副理事長会議
5日	建災防協会函館支部役員会、総会に佐々木 (理事出席)
全日	中小企業団体事務長会に坂本事務局長出席
9日	中小企業団体中央会夕食会に大倉理事長出席
10日	中小企业団体全道大会に正副理事長および 坂本事務局長出席 (於ハーバービューホテ ル)
12日	港まつり協賛行事反省会
2019年9月27日	全道事務局長会議に坂本事務局長出席 (於網走市)
25日	昭和六十三年度電気工事安全大会 (詳細別掲)
27日	全道青年部長会議に平沼青年部長出席 (於札電協)
9月2日	第五回役員会
全日	道工業組合移動役員会に大倉理事長ほか十 五名出席 (詳細別掲)
5日	全日電工連互助会に大倉理事長出席 (於東京都)
7日	青年部役員会
9日	東支部会議
12日	北海道電気工事業厚生年金基金理事会に大 倉理事長出席
13日	団体中央会女子職員研修会に佐藤職員出席
14日	赤川支部会議
全日	いなづま編集会議



16日 正副理事長会議  
全日 西支部会議

19日 法人募金推進協議会総会に細川副理事長出席  
席 (於函館商工会議所)

27日 電気工事二法改正法説明会に大倉理事長、  
吉田副理事長出席 (於札電協)

全日 中支部会議

## 電気工事安全大会

昭和六十三年度の電気工事安全大会が、八月二十五日函館ホテルアルカシヤで開催された。

殉職者に対する默禱のあと、大会長あいさつに立った大倉理事長は『事故ほどおそろしいものはない。人命や家族の悲しみはもとより長年積み重ねてきた企業の財産が、さ細な不注意で崩れてしまう。最近は電気器具の多様化によって電気設備工事に伴なう機器類の

物損事故が多発しているので、充分気を付けて欲しい』と注意を喚起した。  
このあと来賓祝辞で、北電函館営業所佐々木吉孝所長 (及川次長が代理) が六十一年、六十二年における道内の電気事故の発生状況、事故内容を説明し『ヒューマンエラー (不注意) の防止に関心を持つて、今後とも気を引き締めゼロ災害を推進して欲しい』と要請した。

統いて、小林博良函館労働基準監督署長が事故の実例に基づいて原因の分析、防止の対策等について一時間にわたって特別講演、交通安全フィルム『交通事故に明日はない』の上映、西岡大成理事が『電気事故事例の分析』を報告。最後に佐々木三男理事が『第七次労働災害防止計画の初年度にあたり、本日の大会を機に事業主・現場の責任者、従業員各人が電気工事業者および電気工事士の重要性を再認識し、あらゆる事故の絶滅を期する』との安全宣言を行い閉会した。

## 組合員の異動

II 組織・住所の変更 II  
(新) (旧)

一、尾野電気工事 (東支部)

函館市時任町一二一一 函館市的場町一六一一

一、光進電気工業 (北支部)

函館市昭和四丁目 函館市昭和三丁目

一、奈良電気商会 (赤川支部)

函館市西桔梗町 函館市港町二丁目

一、奈良電気商会 (赤川支部)

函館市西桔梗町 函館市港町二丁目

一、(有)安保電気工事 (中渡島支部)

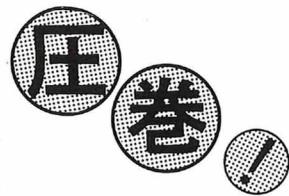
安保電気商会

一、(有)中電設工業 (中渡島支部)

中電設工業

一、(有)栄電舎 (西支部)

栄電舎



# 函館港まつり

## 一万人パレード初参加

青函トンネル開業を記念して開催された『青函博覽会』のさなか、毎年恒例の函館港まつりの諸行事のなかで『花火大会』と並ぶ『一万人パレード』に当組合が初めて参加した。

八月三日午後六時頃より、十字街銀座通りに集合した組合員やその家族・従業員、電気問屋・メーカー関係の諸兄は、銀座通りも溢れんばかりの各団体の熱気の中で先づは腹ごしらえと握り飯を頬ばる人、早くも缶ビールやワンカップをあおる人等々徐々に気分も昂まってきた。

函館港まつりの一万人パレードへ組合としての参加問題は、お隣りの函館管工事業組合が四年程前より参加、毎年に盛り上りをみせていてもあって、三年程前から役員会に於いて一部役員より提案があつたが、渡島・檜山全域に亘る組合員の中で半数以上を占めるといえ函館一市の行事参加で多額の費用を支出する事の是非もあり論議の俎上にはのぼらなかつた。

しかし今年は青函トンネル開通という歴史のエポックにおいて道南各町村をあげて、地域の振興、活性化が叫ばれ独自の活動やプロジェクトが進行の中、中核都市である函館市で青函博覧会が開催され、その期間中の『港まつり』とあって一万人パレードも是非成功させるためにも、今回は組合が参加して電気工事協同組合のPRと心意気を市民に示そうとの気運が高まつた。

先づ五月総代会の席上大倉理事長がパレード参加の意向を表明、組合より五十万円の支出を含め総代会の了解をとりつけた。直ちに佐藤副理事長が委員長、市

内各支部長その他を委員とする特別委員会が設けられ、青年部からも参考を得て爾後数回に亘る協議を経て着々と準備が進行した。

服装のハッピ・タンパン・ゴム足袋・手拭は手別けして外註、おみこしは青年部会員の担当とし、更に車輛・山車の飾り付けもデザインを決めて一部外註し、パレード直前の電飾は組合員有志の協力を依頼した。その他運営、飲食物の手配等細部に亘っての打合せや配置の準備も進行した。

踊りの練習は平沼理事の指導により組合会議室で行なつた。又資金は組合のほか組合青年部・電設業会・組合役員有志ならびに市内各支部組合員有志更には市内各電機問屋・電機メーカー出先に寄附を仰いだ。特に電機問屋・電気メーカーには組合三役が直接訪問して賛助のお願いをした。各社ならびに組合員の皆様には青函博関係の寄附など出費の嵩む折にもかかわらず御理解を頂き心よく応じて頂いた。

長い夏の日も漸く暮れんとする午後七時、参加人員百三十余名の我が組合のパレードは佐藤副理事長の運行指揮のもと賑々しく発進した。



ードにも参加、ダブルヘッターである)四列縱隊、これらには組合員のほか組合員の奥様達、男女従業員及び電機メーカー資材関連など約八十名が続く。何れも揃いの赤いハッピ、背には組合のマーク、襟には組合名が記入されている。処々色変りのハッピは予想人員をオーバーして問屋さんから借用したものである。格好は他の団体にヒケをとらぬ揃いの派手ないデタチ乍ら馴れぬ踊りのこと。先導の平沼理事や周囲を見乍ら最初のうちはギコちなく発進。

更にパレード本隊を前後左右に取り囲む形で四台の活線作業車が進む。各車バケットには大型水銀灯を前面中央に向けて照らし、荷台はベニヤで覆って協賛頂いた電機問屋・メーカーの商社名を書き出し、その下に『全国電気使用安全月間』に因んだ標語スローガンを

掲げ何れも組合名を横書きにしてある。

そして最後は青年部苦心の作『トランスみこし』である。三十キロのトランスの中身を抜き銀色に塗つて周囲には電柱に擬して線を張り、これ又數十個の電球を点滅、青年部を中心に三十数名が派手にかつぐ。日もトップリと暮れ、宝来町から松風町まで約二キロの電車通りの両側を埋めた觀衆の声援のなか、出発前に注入したアルコールのほろ酔いが馴れぬ踊りやみこしがつぎで程よく廻り気分も盛り上ってきた。踊りの列もだんくとギコチなさがとれてきた。

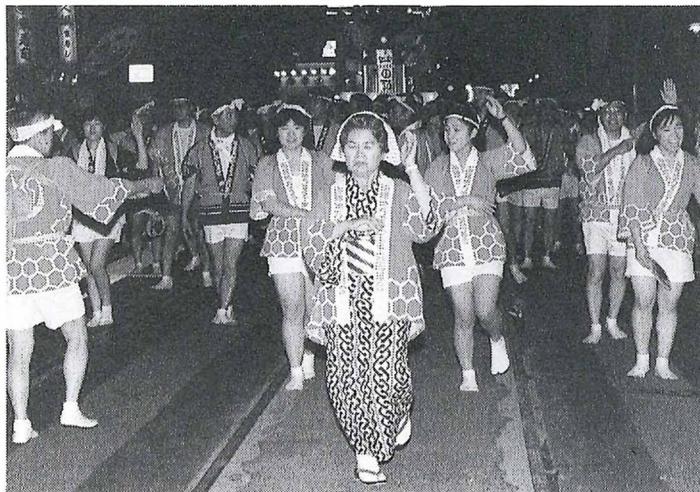
沿道の觀衆も種々の団体がいろいろ趣向をこらし、金をかけた飾り付けや美女連を動員しての踊りなどその都度大きな歓声があがつたが、煌々と水銀灯で照らし雷鳴を轟ろかしての我が組合の山車と活線作業車には意表をつかれた面持ちであった。

特に『トランスみこし』はこれ又荒削りながら電気屋らしい趣向で沿道の喝采を浴びた。かくしてノリにノッタおみこしは途中でのアルコールの差入れもありただでさえ重いみこしに男女二名が乗つて景氣をつけるのでかつぐ人達も重さと酔いで背に食い込む痛をものともせず、活線車や踊りの列の前後左右を縫つて激しく移動する。その度にへその緒よろしく『みこし』からキャップタイヤを数本束ね発電機を積んで紅白の幕で覆つたりヤカ（電源車）が遅れじと忙しくついで廻る。

東雲町の労働会館を過ぎた頃は沿道の觀衆も格段と増え踊りも『みこし』も一段とノッテきた。

松風町の交叉点はこれ又四ツ角とも黒山の觀客、そろそろ疲労も限界とみえたが『初参加の函館地方電気工事協同組合の皆様です。皆様ご苦勞様でした』の女性のアナウンスに励まされ花の大門通りを踊りの列は颯爽と『みこし』は最後の力を振りしづって勇ましく動き廻る。

やっと広小路でパレードは沿道の拍手とアナウンスのねぎらいの言葉を背に終了、かねての打合せ通りあと片付けの後ほぼ全員が「直会」の会場へ入った。



組合をあげてこの様な行事に参加した事は過去になく、時節柄多忙の折にもかかわらず準備万端着々と進行し、参加者も当初の予定を大巾に上廻り大いに盛り上った事は我が組合の心意気を市民に印象づけPRにもなったと自画自賛するものである。ヤレバ出来るといつた自信にも繋がる今回のパレード参加であった。

ともあれ関係担当者のご苦労は云うに及ばず資金面で絶大な協力を頂いた支部組合員並びに電材問屋・メークー各位に対し心より感謝と御礼を申し上げます。

北海道電気工業組合の昭和六十三年度移動役員会が、去る九月二日「青函トンネル開通記念博覧会」開催中の函館市に於いて、ハーバービューホテルを会場として開催された。

午後二時から開催された各委員会に引き続き、午後三時から全体会議が始まり当組合役員が傍聴した。

役員会の冒頭、あいさつに立った島津孝吉理事長は昨年九月に改正公布された電気工事二法の過渡措置による講習業務に触れ、「本日、このあと第一種電気工事士の講習や電気工事施工管理技士の研修会などについて説明する予定だが、全組合員のご理解と協力によって円滑に対処していきたい」と述べ、本年度から三年年に渡つて実施する講習会への積極的な取り組みを強調、さらに『全道青年部連合組織の設立総会が十月八日に開催される。これから工業組合組織推進の上でも必ず大きな原動力になると信じ、大いに期待している』と述べ、各単協の支援体制を要請した。

このあと、総務、技術経営、事業、特別の四委員会から報告や提案がなされ、それぞれ承認された。

当組合の役員との懇談会は、予定の午後四時を少し遅れ、最初に函館港まつり協賛「一万人パレード」のビデオ観賞から始まり、午後六時十分終了、ただちに会場を移動して懇親会へと席を移し、和気藹々のうちに二時間を過ごし解散した。

## 道工業組合

### 移動役員会開催



隨筆

## 中國に魅せられて(七)

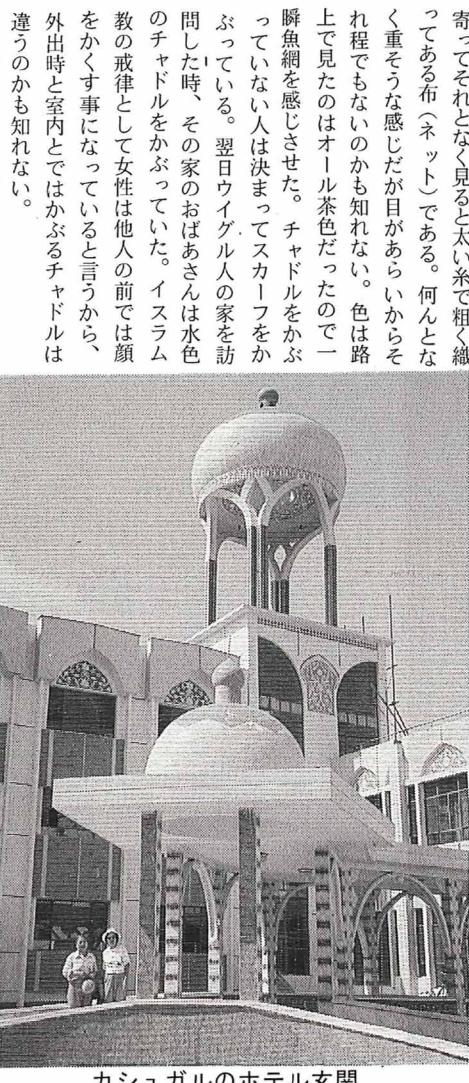
平沼昭子

バザールに行く

エイティガール寺院の裏はバザールになつておおり、露店ではなく建物の一部だつたり建物からの差し掛けの店だつたり、又長屋のように並んでいたり少し広い土間のようなところに左右に店を持ったりさまざまである。店はいづれも半坪、一坪位、金銀の細工の特技があると言われているが、本当に細工道具を廻りに置いて見ている前で小さな槌や、やっこを器用にあやつってトントンカチカチと指輪やイヤリングを作っている。デザインも手が混んでいて見事である。赤や青の玉を入れたりしているので一寸手にしてみたが玉は全部ガラス玉だった。

次つぎのぞいて歩く。行つても行つても同じ店ばかりで少々あきて来た。扱う品物ごとにかたまついるらしく細工物のブロック、衣類や食品、それに木箱に金線を打ちつけ紋様を出す店ばかりのブロックなど切れ目なくつゞいている。金線は真鍮だろうと思う。銀細工は本物らしいが金細工も高価なもののは本物の金を使用しているらしい。

食料品店で見た香辛料の種類の多いのに驚く。木の実草の実のほか石ころみたいなものもある。まさか石ではないと思うが、白あり、黒あり赤ありでカラフルである。名前を知りたいと思ったがバザールは自由行動なので聞く事が出来ない。石鹼だと思ったものに吾々の戦後すぐのザラ〜と同じものが並んでいた。



カシュガルのホテル玄関

路上には生活必需品ばかりでなく理髪店や歯医者等が並んでいる。理髪店は四隅の棒の上にテントを一枚載せた店、どこやの道具と椅子があるだけで鏡はない。お客様に白布はかけていた。歯医者は家の中で治療をしていたが看板がおもしろい。人間の歯を書いたのが軒先にぶらさがっている。「歯科医」と看板を出して読めなければどうしようもないのだから、ソ連のハバロフスクの店のように絵を画く事が一番違いがない。

あちこちにチャドルをかぶった女性を見る。そばに寄つてそれとなく見ると太い糸で粗く織

つてある布(ネット)である。何んとなく重そうな感じだが目があらいからそれが程でもないのかも知れない。色は路上で見たのはオール茶色だったのに一瞬魚網を感じさせた。チャドルをかぶつていらない人は決まってスカーフをかぶっている。翌日ウイグル人の家を訪問した時、その家のおばあさんは水色のチャドルをかぶっていた。イスラム教の戒律として女性は他人の前では顔をかくす事になっていると言うから、外出時と室内とではかぶるチャドルは違うのかも知れない。

二階建の簡易デパートがあり入つてみると、特産の綿製品があり孫達に白地に色糸のしゅうを施したブラウスを買う。いつまでも着ないのでどうしたのかと聞いたら首明きが小さくて吾が孫達の頭が入らないと言う。キルギス族のしゅうでとても可

愛かったのだが残念だった。このデパートにウイグル人の食器が売つてあつた。ナイフを買った人が居た。私もほしかったので一度は手にしたのだが止めた。飛行機の検査でひつかかると思つたら案の定ひつかかた人が居た。私は髪の乱れを整えるスプレーがひつかかた。何もない筈と思ってすましていたがピーピーなるからしづ／＼中をあけざを得なかつた。

蘭州のバザールに行つた時は道路に大きな盤を置いて碁を打つてゐる人を見た。手のひらに二つ持つたら一ぱいという位の大きな碁石である。石の数が少ないから日本のルールと違うのだろうか。中国人で日本で段位を取つた人が居たと思うが、カシュガルでは全然目につかない。ウイグル人と中国人とは遊びも趣味も異質のものなのだと思う。

午後出発の時吾々の乗つたバスが交通事故を起こす。加害者などの事で皆心配したが大した事もなく交通警

察が来て処理しバスが動き出した。広い道で日本のように車がつゞいているわけでもないのに接触事故がおきるとは、技術がまずいのか起きる時には仕方のない事なのかと変な納得をしていた。

驚いた事の一つにこのカシュガルで日本の「佐川急便」のマークのついたトラックを見る。江戸時代の「飛脚」の絵のあるマークである。ここ迄来て運送をしているわけでもないしと聞いたら中古車の輸入で、特別塗り替える事もなくそのまま使用しているとの事であった。日本の運送屋が来ているなら旅行も持つて歩かなくてラクなのだがと話し合つた事だった。

### 三仙洞

バスは砂礫の河底に停止。河巾一〇〇メートル、かつて水は流れていたが洪水によって流域の民家が流出しその後人はこの地に来なくなつたと言う。この河の水源は今はなく大雨以外に水は流れない。タクラマカン砂漠で洪水がおきる程の雨が降り、民家が流出する程の洪水がおきるとは不思議な気がする。砂礫の河底一面に砂漠の「三草」と言われるタマリスク、積々草、ラクダ草が生えている。

河岸にそり立つ絶壁の上部に三つの洞窟の入口があらわされているのが見える。三仙洞である。昔はこんなに高くなかったのではないか、洪水と共に河底も土地も削りとられて絶壁が次第に高くなつたのではないだろうか、現在吾々が見上げていて足場をどうしてかけたのかと考える。ガイドは中国の考古学者が絶壁の上からロープで吊り下がって洞窟の調査をしたと言う。洞窟は仏画がかかれ前室と後室に別れている由、高さ四メートル、巾三メートルで紀元前一世紀～後二世紀ごろに書かれたとガイドブックにある。敦煌莫高窟より一〇〇年も早く画かれたという。タクラマカン砂漠の西端で一番印度に近く仏教伝播も一番早かつたのだろう、唐時代の玄奘も時の都長安からこの地を通つて印度に行つたのだから。イスラム教が入つて仏教が破壊される迄のカシュガルは仏教国だった。三つの洞窟は中国では最も西にあり最も古い仏教遺跡である。

イギリスの探險家スタンプが壁画を持ち出したと言

う。日本の大谷探險隊もここに来た。真中の窟に落書きがあるという。この地区の北側はソ連と隣接しており道路もある。地元の人々は定期的にソ連と貿易をしているが國としての交流はないと言っていた。

吾々が見上げている時に中国人の男女（はなれい）での年齢はわからないが若い人達ではないかと思われる）を満載した小型トラックが来る。はしごをつないで絶壁に上がろうとしたがとても及びでない。一人が別の道から絶壁の上にのぼってきたが洞窟の上で立往生、吊り下げるにも吊り下げられるにも素手で一人では何も出来ない。はしごの上の人のとの間隔がありすぎて手をつなぐ事も出来ない。しばらくウロ／＼して居たが戻ってしまった。はしごの連中も二～三人が挑戦したようだが結局だめ、吾々は時間が来てバスに乗つたがその後どうなったのかと思う。

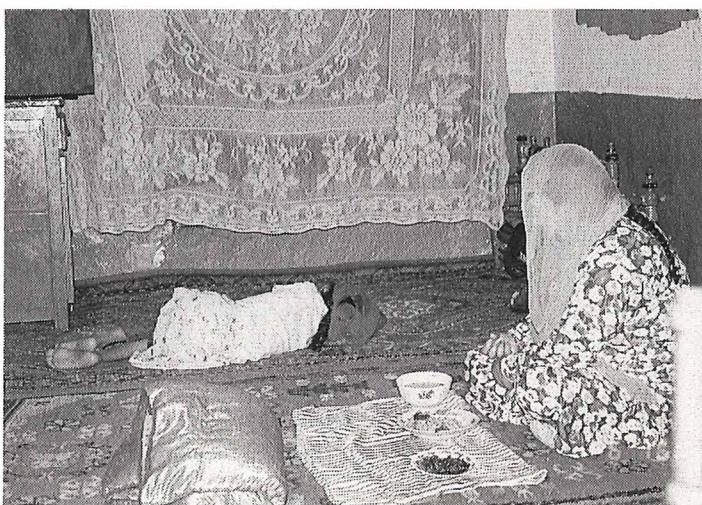
### ウイグル人の家を訪問

観光客のために開放を命じられている家のだろうか、ウイグル人の家庭を見せてくれるとの事で出かける。メメッチさんと言ひ五十五才、八人家族の御主人で水力発電所につとめている。メメッチさんの家は三世代の家族が住む。ウイグル人は御客様が来てくれるといふことは非常な名誉であるとの事である。中国語組と英語組とが別々の家庭を参觀したから開放してくれる家がほかにもあるのだろう。

御馳走が出る。その前にメメッチさんが大きな銅製の水差とその水をうけるつぼとバスタオルを持って来て、一人一人水差の水をかけて手を清めさせた。それから布を敷き更にその上に白布を重ねて食物を並べる。大小のナン、穴のあいたナン、細い紐のようない、紙のように薄くしたの、油であげたナン、それに水砂糖、バターあめのようなもの、ビスケット、砂糖のかかつたお菓子、ハチミツ、砂糖を加工したもの、桃、すも、西瓜、ハミ瓜等沢山並べた。紐のように細くしたナシは美味だった。昼食後すぐの訪問なのでとても

食べられない。全く「～」の試食程度に終わる。メメッチさんはどん／＼食べててくれなくて申しわけないと言つていた。ナンは常食で日持ちがいいので二週間分位一度に作るという。

メメッチさんの家に入った時にすぐ左の室に母親が



メメッチ家の母親

居た。やはり布を拡げて食物を並べていたが、水色のうすいチャドルをかぶつて横をむいていたので顔がはつきりしなかつたが、食事をする時はチャドルをあげて食べるのだろう。一々チャドルの下から口に運ぶわけではないのだろうと思う。吾々が来たから顔をかくしたのだろう。

冬の暖房はオンドルで燃料は石炭である。月収は三〇〇元、四〇〇元位になると上級となる。この地方は内地より五〇〇元ぐらい高い収入である。息子は一五〇元と言つていたが息子さんの職業は生きもらした。テ

レビの普及はそれ程でもない。吾家のカラーテレビで話していた。この近所ではテレビは四軒より持っていない。日本の放送は時々見るとの事、日本に対しても印象については「あまり知らない。中国政府との関係が良さそうだ」という位であると言っていた。

朝七時に起床、十時に出勤して山に行き水路の点検をする。休みは決ってない。妻の仕事は同じ職場につとめている。観光客が多くなったのでその点についてはどんどん来の方が多いと思う。物も豊富になつたし道路も良くなつた。これからは外国人が来るばかりでなく自分達も外国に行ってみたい。メカに行って来た事が一番うれしい。車でパキスタン迄行きそれから飛行機で行つたと話していた。コーランの壁掛けが下つていたがメック力に行つた時の土産なのだろう、メッチさんの宝物かも知れない。

この家は建つてから一〇〇年以上経つて居り妻の家である。母親は八十才になっているがいつ建てたかわからぬと言う。家族が一番多かった時は十五人であったと話していた。メッチさんは丸顔小ぶりの温厚そうな人である。

この家は二階建である。トイレも二階という事で家を出てから一階に上つて見る。階段は外で直接二階に上れるようになっている。ウイグル人は一室で寝食・応接などすべてを行うのだろうか。二階が息子さんの住居らしいから室数はなさそう。日本のように押入がないから財産はオープンに積み重ねてある。バザールで見た金線の張つた箱がいくつも積み重ねてあった。メッチさんの家は表通りから小路に入つた中にあり案内人がいなければ道に迷う。表通りはこまかい土ほこりが舞つていたが小路の土は踏みかたまつていた。朝食に「ナン」が出る。ウイグルの常食である。小麦粉を水だけでこねて焼いたもので味はついていない。しかし意外と美味でいくらでも入りそうである。待望の味だったので朝食は楽しかった。そのまま焼いたもののほかに白ゴマを振つたものもある。見た目はカチカチと固そうであるが食して見ると味はフカフカとやわ

らかい。帰国してから知つた事だが五稜郭（場所はつきりしない。行啓通りらしいが）にウイグルの料理を出す所があるのである。

### ベゼクリク千仏洞

ベゼクリクとはウイグル語で「美しく飾られた家」と云う意味。六世紀から十四世紀迄の間の壁画である。火炎山の北側の麓にある石窟である。壁画は今世紀のはじめドイツ人の「ル・コック」によつてはぎ取られ国外に持ち去られた時と、十四世紀にイスラム教が入り偶像否定で破壊された時と受難が二度あつた。特にイスラム教は異教の偶像の眼に見られる当たりがあるとの迷信によつて、すべての仏像の眼がえぐり取られている。同じ壁画でも敦煌の壁画は豪華で美しく当時の文化の高さを伝えているが、ベゼクリクはやはり西域だけあってイスラムの仏教迫害をまともに受けたので損傷がはげしい。又画かれたものも何んとなく西域の匂がする。

### 第二十七窟

仏像は光背だけ残り顔はメチャメチャ。子供がいたずらをして土壁を鋭利な刃物で引っかいたようである。光背も色彩がうすれ敦煌の鮮やかさの比ではない。唐時代の壁画に直接土を盛りつけたという。土を盛った理由はドイツの探險隊が一度に搬出できないので、次に来る時まで別の探險隊に持ち出されないためだつたが遂に来なかつた。現在土を落すと下にある壁画も一緒に剥落するので手がつけられないとの事である。干からびた黄土色の土が壁に無造作に塗られてあつた。

第二十窟  
ウイグル王の壁画だつたのだがル・コックがはぎ取り持ち去つたので、現在はドイツの博物館にある壁画を写した写真がそのあつた場所に飾られてある。小さな写真のまわりの空白の壁が痛ましい。

### 第十七窟

ガランとした部屋である。かつては天国と地獄の物語りの画があつたと云う。ここもル・コックが手を入れ奥の小部屋にあつた経本を持ち出したとの事である。

### 第十五窟

西域を感じさせる窟。天井の唐草紋様が美しかつた。何の目的の窟なのか壁画はなかつた。塑像でも安置してあつて持ち出されてしまったのだろうか。

### 第三十九窟

此處は积迦涅槃図の壁画が入口正面に画かれている。特に积迦の顔だけが狙いうちされて破壊されていた。涅槃の积迦の後側に画かれている各国の使節國？（积迦の教を守る各民族）が並んでいるが、この人達は仏像ではないので顔は傷んでいない。資料を読むと大きな目はモンゴル人、鼻の高いのはイラン人、ターバンを巻いたのはビルマ人、衣冠正装は漢人である。ターバンと鼻の高い人、それに大きな目が私の想像に残る。（次号に続く）

### ◎ お 詫 び

前号掲載分に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

八頁下段 二三行目 (清の乾隆帝) —— (清の乾隆帝)  
八頁下段 四行目 母親に難詰され —— 母親が難詰され

九頁上段 写真説明 「四隅の小さな塔」 —— 「四隅の小さな墓」

九頁中段 一六行目 ひやく —— ひやく

## 雇用保険制度の趣旨へのご理解と不正受給防止にご協力を

失業給付は、失業した労働者の生活の安定を図り、再就職を促進することを目的としています。ところが、働いている事実を隠したまま支給を受けるなど不正な受給がまだあとをたちません。失業給付は、労働者及び使用者の方々から納めていただいた保険料と国民の皆さんのが納められた貴重な税金によってまかなわれています。そのため、一部の受給者によって不正な受給が行われることは、制度の健全な運営を阻害することにもなりかねません。

行政機関としても、不正受給に対しては従来から厳しい措置をとっていますが、11月を雇用保険不正受給防止啓発月間として、不正受給防止の徹底を期すこととしています。

つきましては、その趣旨を御理解いただき、不正受給防止に御協力をお願い申し上げます。

### 不正受給とは

- 就職や就労（パート、アルバイト、日雇、試用期間なども含みます。）した場合に、そのことを失業認定申告書で申告しなかったり、または採用になった日付あるいは働いた日付を偽って申告する。
- 内職や手伝いをした事実及び収入を隠したり、偽った申告をする。
- 自分で営業を始めた場合に、その事実を隠したり、偽った申告をする。
- 労災保険の休業補償給付や健康保険の傷病手当金などの支給を受けていることを届出ない。
- 就職していないのに就職したと偽ったり、就職した日を偽って再就職手当の支給申請をする。
- 受給資格者証を他人に貸したり譲ったりして失業の認定を他人に受けさせる。
- 偽りの記載をした離職票を提出する。
- 医師の証明書や採用（内定）証明書などの各種の証明書または再就職手当支給申請書など、各種支給申請書の証明欄を偽造または改ざんして提出する。

などの不正な手段により、失業給付を受けようとすることです。

### 不正受給に対する処分は

- 不正の行為のあった日以後は、給付を受ける権利がなくなり、原則として一切の支給を停止する。
- 不正に受給した金額の返還を命ずる。
- 不正に受給した金額の返還に加え、原則として、さらにこれと同額までの納付を命ずる。
- 事業主が偽りの届出、報告または証明をすることにより不正受給に協力したときは、事業主に対しても、不正受給を行った者と連帯して返還及び納付を命ずる。
- 詐欺罪、公文書変造罪及び私文書偽造罪等により処罰されることがある。



## できるはず!! みんなが望む 正しい受給

雇用保険関係書類の書き方などでわからない点は、公共職業安定所の窓口で遠慮なくお尋ね下さい。

北海道労働部雇用保険課  
公共職業安定所

あかるい明日を技術でひらく

# 東芝電材株式会社

函館営業所

040

函館市大繩町二十一番十四号  
電話 国内線四一一三四一

吟味する

# 松下电工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七  
電話 国内線四九一五三五

工事材料・電化製品

# 丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話 国内線四九一三一三一三

電気設備機器資材の総合卸商社

# 大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七  
電話 国内線四九一六二二一七  
山越郡八雲町内浦町一〇七番九九番

日松立電線(株)代理店  
支店 札幌営業所

# 北進商事株式会社

F電函  
A  
X  
五  
五  
五  
五  
一  
三  
七  
四  
一  
五  
号

電設資材・機電総合卸

# 進和電機株式会社

函館市松川町三四一一三  
電話 国内線四二一六二二三

明日をひらく電設資材の総合卸商社

# 工ニヤ商會

函館営業所

函館市富岡町丁目四一一七  
電話 国内線四三一三〇一一(代表)  
本社 札幌・営業所 剣路、苦小牧

電気工事機器  
音響通信機器  
総合商社

# 石垣電材株式会社

函館営業所

札幌市中央区北六条西二丁目九二二番  
函館市新中野町三丁目九二二番  
函館市中野町三丁目九二二番  
函館市苦小牧町三丁目九二二番  
函館市苦小牧町三丁目九二二番  
函館市苦小牧町三丁目九二二番  
函館市苦小牧町三丁目九二二番  
函館市苦小牧町三丁目九二二番  
函館市苦小牧町三丁目九二二番